

東京都に住む人々へ

一般社団法人東京都病院協会

新型コロナウイルス感染症による一斉休校・渡航制限・大規模集会禁止・外出自粛・医療崩壊・首都封鎖とおどろおどろしい言葉が飛び交っています。しかしながら、遠く離れた対岸の火事としてとらえている人達もいるようです。この恐ろしい疫病からの出口を見つけ出した国はひとつもありません。いつになったら終息するのか、いつになったら元の生活に戻れるのか？ 世界のいたるところで、都市封鎖が進み、次は明日の東京かもしれないのです。この現実をしっかりと受け止めていただきたいと思います。

東京都のいくつかの病院はすでに新型コロナウイルス感染症の患者さんを受け入れつつ闘っております。また、そうでない病院もそれぞれに合った体制を整えつつあります。しかし、これまでの東京の医療水準であれば救えたはずの命も、感染爆発が起これば救えなくなってしまうでしょう。新型コロナウイルス感染症の感染爆発は、院内感染を引き起こし、患者さんのみならず治療にあたる医療者をも容赦なく呑み込んで行くことでしょう。疫病に立ち向かう医療者がバタバタと倒れてしまったら、病気にかかっている人達を救うことができなくなることこそが医療崩壊なのです。新型コロナウイルス感染症かどうか分からない肺炎患者さんが毎日入院してきています。PCR 検査も十分にできず、恐怖を抱きながら診療にあたっています。早々に、呼吸器症状のある発熱の方を診ることができなくなり、医療体制の機能不全が起こるでしょう。そして、感染爆発は、このような状況に拍車をかけていくことでしょう。

都民の皆さん個人個人の行動が、これからの感染爆発を抑えることになります。世界の情勢を見ると、感染爆発を防ぐためには、社会の大部分を停止させる戦略しかないようです。しかし、この戦略は長期には継続不可能です。社会生活のダメージと経済の損失は未曾有のものとなるでしょう。どうやって今の事態から出口を見つけ出していいのか、どこの国も見つけ出していないようです。

どうかお願いします。3つの「密」どころか、ひとつの「密」すらも避けてください。換気の悪い密閉空間・多数が集まる密集場所・間近で会話や発声をする密接場面の、ひとつでも避けてください。この病気にかからないようにすること、そして大事な身内を護ることは、皆さんの行動にかかっているのです。皆が力を合わせれば必ずや恐怖を克服し好転することと確信しております。都民の皆さん私たちにお力をお貸しください。